

「幸せ発掘」女性の雇用を支援

「女性だからこれがやれた」という会社を目指してきた」と話すように、女性の雇用を支援するベンチャー会社「エニーズ」を平成十二年から率いている。社内で働くスタッフも女性ばかりだ。年間契約した顧客の専属スタイ

入して販売するセレクトショップを四店舗、展開したり、有名ブランドの販売代行店も運営している。しかし、「どんなに優秀な店員でも年齢が高くなると商品イメージと合わなくなり、販売現場に立

任にするものではないと感じた。ことから、自立を決定。昼は会計事務所働き、夜はホームステイで受け入れていた外国人と始めた英会話教室を開く。この生活を七、八年続けた後、友人の誘いで個人輸入による店舗経営に携わっ

た。「母子家庭だからこそ、パワフルになれる。子供がいることをリスクと思っただけは、ステータスはできない。子供のことは心配で、必ず問題

も起こるものだが、それをきちんと受け止め、冷静に対処すれば、子供は真つすぐに育ってくれるのではないかと。十七歳の娘さんは現在、バレエの勉強のため米園留学中。「習事の親子には通う絆がありません」という。

最近では仕事を求める女性の相談に乗ることも多い。女性が雇に当たった場合、こうアドバイスしている。

「私はどうしたいのかを常に自問してきた。分岐点に立ったとき、やらなくてはいけないという気持ちで選ぶと必ず行か詰まる。やりたいという気持ちが強い方を選ぶ。その方が長続きするのでは……」

(中川淳)

リストとなり、オーダーメイドのスーツや靴などを総合的にアドバイスする仕事を中心。「女性の持つ心配り、感性は接客に向いている」という理由から、登録した女性を接客のプロとして育成、販売員などとして派遣する。彼女たちは、顧客の個性(キャラクター)を引き出すスタイリストという意味から「キャラリスト」と呼んでいる。

それは、一緒に仕事をしてきた周囲の仲間に、シングルマザーが目立ち、「シングルマザーは技術や経験があっても仕事の場が特に少ない。子供が大きくなりにつれ、さらに費用もかかる。何とかしたい」という思いがあったからという。

雇用を広げるため昨年からは、エニーズが販売代行などを請け負ったアパレル店や飲食店の店員として派遣する人も増やした。最近ではスタッフ研修の依頼も多

い。エニーズを設立する前は、ニューヨークで服を買い付け、個人輸

送、そして離婚を経験してきた。「子供を育て始めるうちに、幸せは自分で発掘するもの。夫の責

任にするものではないと感じた。ことから、自立を決定。昼は会計事務所働き、夜はホームステイで受け入れていた外国人と始めた英会話教室を開く。この生活を七、八年続けた後、友人の誘いで個人輸入による店舗経営に携わっ

た。「母子家庭だからこそ、パワフルになれる。子供がいることをリスクと思っただけは、ステータスはできない。子供のことは心配で、必ず問題

も起こるものだが、それをきちんと受け止め、冷静に対処すれば、子供は真つすぐに育ってくれるのではないかと。十七歳の娘さんは現在、バレエの勉強のため米園留学中。「習事の親子には通う絆がありません」という。

最近では仕事を求める女性の相談に乗ることも多い。女性が雇に当たった場合、こうアドバイスしている。

(中川淳)

ベンチャー会社経営 川崎 昌子さん



「女性の強み」を生かすため、アイデアを考え続けている

